

パワハラ
法改正対応

パワハラ防止のために

パワハラ実態調査 NEOS-Power harassmentのご案内

パワハラ実態調査とは、パワー・ハラスメントの実態を把握するだけでなく、パワハラ防止に向けた職場風土の醸成を目的に開発された『**全数無記名**』調査です。

パワハラについて、こんなことに困っていませんか？

- ✓ パワハラ通報があったが、当事者以外の客観的な意見を確認したい
- ✓ パワハラの原因として、組織上の問題があるのではないか
- ✓ パワハラ予備軍がいらないか、発生リスクを把握したい

パワハラ実態調査の特長

1. パワハラの実態を多角的に把握できます

従業員からみたパワハラの実態について、「パワハラ」の6つの行為類型を用いて「受けた」「見た・相談を受けた」を聴取し、「発生頻度」「深刻度」「パワハラ後の行動」など多角的に把握します。

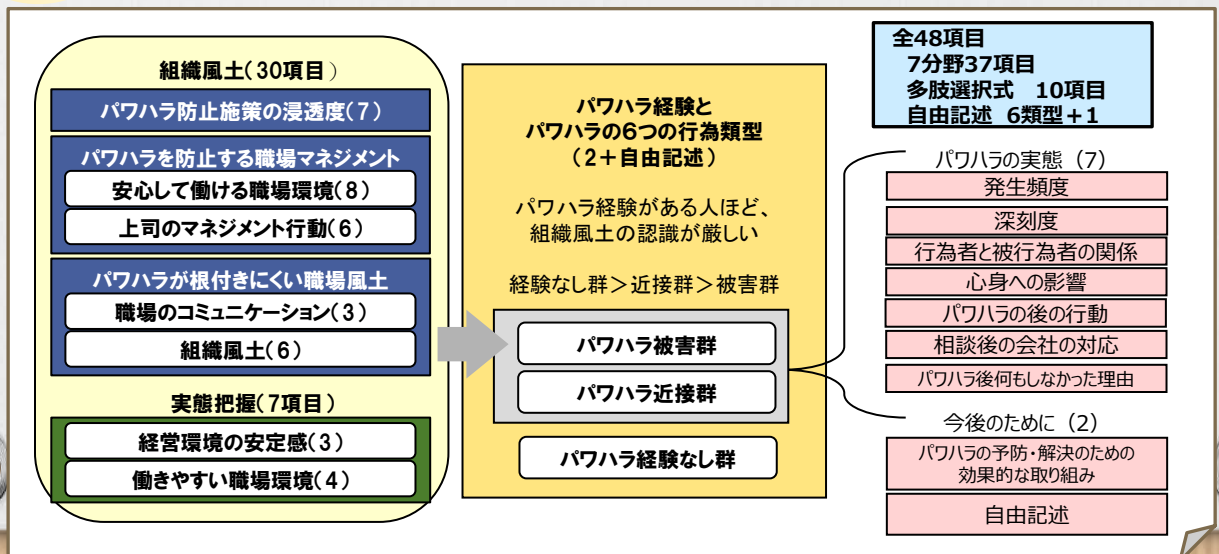
2. パワハラ対策の認知度・実践度を確認できます

パワハラ法改正において義務規定である「事業主の方針の明確化」「相談体制の整備」など、パワハラ対策の認知度と実践度を測定し、周知啓発活動につなげます。

3. パワハラ防止のための具体的な改善策を明示します

パワハラ防止の最大の要となる組織風土を測定し、「誰が」「何を」すればよいのかについて、結果に基づいた具体的な提言を行います。

調査領域



調査後の展開

詳しくはこちらをご覧ください <https://www.noma.co.jp/neos/powerharassment/index.html>